



# 両中四季



令和7年9月11日 第6号

## 前期学校評価について

両川中学校では、教育目標「未来をたくましく生き抜く生徒」の具現に向けて、身に付けさせたい資質能力を「傾聴力・思考力」「自己肯定力」「行動力」と設定しています。前期のアンケート調査などから、それぞれの資質能力の定着度合い、後期に向けての改善点など、前期学校評価がまとまりましたので、お知らせいたします。

\*表中の◎は、4段階評価で最上位「とてもそう思う」の割合

1 傾聴力・思考力	
目指す姿	主体的・対話的で深い学びのある授業を通して、新たな考えを創造する思考力の高まりを実感する生徒
評価基準	「授業を通して、他者の考えに学んだり、自分の考えを深めたりしている」生徒が90%以上（◎50%以上）
結果・考察	肯定的評価は90.5%（◎59.5%）で、大変よい結果でした。日々の授業で、ICT端末を活用することにより、生徒の主体的な学びと学習意欲が高まってきています。今後も、少人数でのグループワークやアウトプットの場を増やし、より多くの生徒が学びの深まりを実感できるよう授業づくりに取り組んでいきます。
2 自己肯定力	
目指す姿	温かな学級支持的風土と誰もが過ごしやすい心理的安全性の高い学校生活を基盤として、自己肯定力の高い生徒
評価基準	「学校が楽しい」生徒が85%以上（◎40%以上）
結果・考察	肯定的評価83.3%（◎45.2%）で、目標にやや届きませんでした。しかし、自分の良さをしっかり認識し、目標をもって学校生活を送っている生徒がほとんどです。これからも学年の実態に応じた目標設定を行い、一人一人が活躍できる場を意図的に設定して、自己肯定力の向上を目指していきます。
3 行動力	
目指す姿	自他の違いや存在価値を認める特別支援教育の推進を通して、共生社会の実現に寄与できる行動力のある生徒
評価基準	「自分の周りの人たちの個性や違いを認めたり、大切にしたりしながら生活をしている」生徒が80%以上（最上位評価40%以上）
結果・考察	肯定的評価92.2%（◎69.0%）で、とても高い結果でした。「思いやり」や「どんな理由があってもいじめはいけない」の項目でも、高い数値でした。仲間を大切にする心の優しさ・豊かさ、そして差別を許さない行動力が身に付いていると感じています。引き続き、道徳教育を中心として、自他を大切にする心の醸成を図っていきます。

## 4 健康

目指す姿	望ましい生活・運動習慣の確立に向け、健康課題について自ら考え実践する生徒
評価基準	①「1日当たりのテレビゲーム（PC・携帯式ゲームなど）の時間」および、②「1日当たり携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴の時間」が、ともに2時間未満の生徒が80%以上
結果・考察	①57.4%②54.8%で、ともに目標に届きませんでした。長時間のSNS利用の悪影響は、様々な専門機関から報告されており、学校のみならず社会的な問題であると捉えています。学校では、生活リズム週間の実施や委員会活動で啓発を続けていきます。これら学校の取組に合わせ、各ご家庭でも、利用時間や使用方法について約束事を決めてください。

### 保護者アンケート(抜粋)

いただいたご意見などは、後期の学校運営の参考にさせていただきます。ご協力、ありがとうございました。

紺色:よく当てはまる 橙色:だいたい当てはまる 水色:あまり当てはまらない 緑色:まったく当てはまらない 紫色:分からない

